

# 子どもが伸びるチャンスを活かそう 青少年育成アドバイザー養成講習会

## 【平成29年度募集要項】

- 趣旨 今日、少子高齢化、高度情報通信化、経済のグローバル化、格差の増大など目立ち始め、青少年においても、規範意識の低下、問題行動の多様化、社会性の未熟、親子関係の希薄化、虐待や携帯ネット被害の増加、ニート・引きこもりなど自立できない若者など様々な問題が生じ、新しい青少年育成が課題となっています。そこで、青少年の心身の発達過程を理解し、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を学び、地域における日常的な各種青少年育成活動の中核となる指導者を養成します。
- 期日 平成30年2月23日（金）～25日（日）  
【2泊3日】〔受付：23日12:00～13:00〕
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟）  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL03-3467-7201（代）  
アクセス： 新宿駅～小田急線(各駅停車)3分 参宮橋駅 下車 徒歩7分  
ウェブページ： <http://nyc.niye.go.jp/>
- 対象者
  - ①青少年の育成指導・教育・支援等、幅広く青少年に関わる活動や仕事をしている人
  - ②青少年指導者としての基礎知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたい人
  - ③住んでいる地域をいきいきとさせる手掛かりや相談・助言について学びたい人
- 募集定員 80名（申込締切は平成30年1月31日迄）
- 参加費 17,000円(2泊3日の研修費7,000円、食費6,000円、宿泊費4,000円)  
宿泊先を別にされる方は13,000円。払込は別途連絡します。
- 主催 全日本青少年育成アドバイザー連合会
- 協力 全国青少年育成県民会議連合会（予定）
- 主管 青少年育成アドバイザー東京会
- 後援 内閣府政策統括官【共生社会政策担当】  
一般社団法人全国社会教育委員連合  
特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会（以上予定）



## 11 研修日程と内容

日(曜)	プログラム	内 容	担 当
23日 (金)	開講式 13:00~13:20	主催者・来賓挨拶とオリエンテーション	主催者 後援者
	講義① 13:20~14:20	国の子ども・若者育成支援の取組について学びます。	内閣府共生社会政策担当者
	講義② 14:30~16:10	人間の成長・発達課程を軸に、それぞれの発達段階で、どんな関係や活動、経験が必要か学びます。	群馬大学名誉教授 萩原 元昭
	16:20~17:10	今日の青少年育成アドバイザーの役割について考えます。	全日本青少年育成アドバイザー連合会長 山本 邦彦
	講義③ 18:30~20:00	青少年の健全育成は青少年に関心を抱き、健全に育む町づくりが重要となります。そこでどんな発想で町づくりをすべきか実践例を交え学びます。	聖徳大学名誉教授 聖徳大学生涯学習研究所長 福留 強
	意見交換会④ 20:15~21:45	課題別グループで参加者の自己紹介と活動状況について語り合い、幾つかの課題や問題点を明らかにします。	助言者：萩原 元昭、福留強、下田 太一、小俣 和義（青山学院大学教授）
24日 (土)	講義と実習⑤ 9:00~12:00	青少年問題解決のための相談・助言（カウンセリング）の基礎と応用を学びます。	日本経済大学スクールカウンセラー 柴崎 武宏
	講義⑥ 13:00~14:20	子ども・若者の居場所づくりを進めるためにどんな考えでどんなアクションを起こすべきか考えます。	教育史研究家 久田 邦明
	講義⑦ 14:30~16:00	進化するインターネット社会の現状を知り、青少年育成者はどのように向き合い対応すればよいか学びます。	NPO 法人青少年メディア研究協会理事長 下田 太一
	講義⑧ 16:10~17:10	子ども・若者は悩んだり行き詰ったとき何故自ら助けを求めないか心理的観点から対応策を考えます。	東北福祉大学教授 渡部 純夫
	課題別研究⑨ 17:20~18:30	意見交換で明らかになった問題や課題について助言者を交え、グループで深め合い、対策の幾つかのテーマを明らかにします	助言者：萩原 元昭、下田太一、渡部 純夫、小俣和義
25日 (日)	課題解決の企画立案⑩ 8:30~12:00	課題別グループで解決しなければならないテーマを絞り、おかれた背景や必要な条件を明らかにし、具体的な方策を皆で知恵を出しあい立案し模造紙でまとめます。	助言者：萩原 元昭、下田太一、渡部 純夫、久田邦明
	全体会⑪ 13:00~14:00	グループ別で立案した方策を発表し、講師の先生からアドバイスをいただき、明日からのアクションを明確にします。	助言者 萩原 元昭、下田太一 他
	閉講式 14:00~14:30	挨拶と修了証授与及び青少年育成アドバイザー認定までの予定を説明します。	主催者

※講師等の都合で担当が変更になる場合があります。また24日は19:00から全体交流会を行います。

## 1.2 課題選択

研修の内容をより深めるために次の課題別に意見交換やグループワークを行います。次のどれか1つを選んで申込書の希望課題選択欄に番号でご記入下さい。

- ① 青少年の居場所づくりや不登校、ニート・引きこもりの現状と今後の向き合い方を学ぶ。
- ② インターネット時代の子育て教育に関わる知識と、啓発への具体策を学ぶ。
- ③ 価値観の多様化や地域連帯感の希薄化、少子高齢化の中で、青少年健全育成活動をどうデザインするかについて学ぶ。

## 1.3 青少年育成アドバイザーの認定

(1) この講習会の修了者には修了証を発行いたします。

(2) この講習会終了後から1ヶ月以内に、

①小論文(1,000字~1,200字) ②編(テーマ「これからどんな青少年育成活動をおこなっていくか」「この講習会で学び感じたこと」と青少年育成アドバイザー認定申請書(自己紹介)を所定用紙に記入し全日本青少年育成アドバイザー連合会認定事務局に送付すること。

(3) 青少年育成アドバイザー認定は、主催者の認定委員会が①入門講習会(開催している地域もある)②今回の全日本講習会修了③小論文④青少年育成アドバイザー認定申請書を勘案し青少年育成アドバイザーとしてふさわしい方を全日本青少年育成アドバイザー連合会長名で認定し認定証を発行いたします。但し、入門講習会に参加できなかった方は、後日主催者が指定する補講(受講者に連絡)を受けていただきます。認定後は各地域の組織に加入し活躍できます。

### 【講習会お問合わせ先事務局】

青少年育成アドバイザー東京会事務局長 配島 裕美 携帯 090-6571-5955  
全日本青少年育成アドバイザー連合会事務局長 谷本 治 携帯 090-8692-9182

### 【青少年育成アドバイザー及び全日本青少年育成アドバイザー連合会とは】

青少年育成アドバイザーは、青少年育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する青少年育成指導者で、(旧)社団法人青少年育成国民会議の「青少年指導者のための通信教育」で、平成23年度から全日本青少年育成アドバイザー連合会「養成講習会」で、一定の課程を経て認定した方々です。

全日本青少年育成アドバイザー連合会は都道府県青少年育成アドバイザー会をまとめる全国組織で平成9年9月に発足し、会員数は1,300名。“子どもが伸びるチャンスを活かそう”をスローガンとし育成課題の全国研究集会や平成23年度から青少年育成アドバイザー養成講習(既に122名を認定)を行っています。事務局は愛媛県宇和島市三間町是能202-40 谷本治(宅)です。

【この講習会は国立青少年教育振興機構の助成を受けています】



### 【青少年育成アドバイザー東京会とは】

昭和55年に発足し、現在会員数は21名で、地域の育成団体や育成者とのネットワークづくりや資質向上の勉強会、地域の「隣のおじさんおばさん運動として」子どもの見守りや、保護者の悩み相談などを行っています。東北大震災の支援イベントやボランティアも力を入れています。

会長は東京都江戸川区春江町5-17-137の山本又三氏です。

## 平成29年度青少年育成アドバイザー養成講習会申込書

【申込方法】下記の事項の記入要領で、FAX又はメールでお申込み下さい。

FAX先 044-933-8568 配島 裕美 宛

Eメール [yumi@yuscorp.com](mailto:yumi@yuscorp.com)

(平成30年1月31日までにお申込み下さい。)

（ふりがな） 氏 名		性別	男 ・ 女	年齢	歳（申込時）
住 所	〒				
所 属 （団体・職場）			電話番号 （携帯）		
Eメールアドレス			FAX		
課 題 選 択 / 宿泊手配 （番号/○）	希望課題選択 （グループ別）	宿泊先の手配 （○をして下さい）		備考	
		1 主催者手配希望 2 自分で手配する			

※ 宿泊と食事は国立オリンピック記念青少年総合センターで。宿泊先を別にされる方はその分参加費から差し引きます。

※ 修了の単位（講義等）は①～⑪のことを指します。新受講者は全単位の取得を原則とします。

※ 申込書が不足する場合はコピーをしてください。

※ お知らせいただいた個人情報は本講習会の運営及び認定に関すること以外では使用しません。

※ この講座は既青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。

※ 会場の駐車場は限られていますので公共交通機関でお越し下さい。